

令和6年度第3回狭山市協働推進委員会会議録

開催日時：令和7年3月13日（木）午後1時30分から4時30分まで

開催場所：中央公民館3階 第2ホール

出席者：狭山市協働推進委員 9名

事務局：自治文化課 課長 主幹 主事 計4名

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 議題 令和7年度提案型協働事業2次審査

○令和7年度提案型協働事業について事務局より説明

（【提案制度審査要領】・【令和7年度提案型協働事業一次審査結果一覧】参照）

提案事業11事業（市民提案型協働事業8事業・行政提案型協働事業3事業）のうち、10事業（市民提案型協働事業7事業・行政提案型協働事業3事業）は1次審査を通過、1事業は1次審査において不採択となった旨を説明。

○各事業のプレゼンテーション

（【令和7年度提案型協働事業2次審査タイムスケジュール】・【令和7年度提案型協働事業提案書一式】参照）

《市民提案型》

・にじいろ体操教室（3回目）

発達の凸凹がある子、障がいのある子、グレーゾーン、大病してリハビリしている子たちが、きょうだい児とその保護者が一緒に通える体操教室やイベントを行う。

委員) 使用する器具や運動の内容は子どもによって違いはあるのか。

団体) 使用する器具は基本的には変わらないが、運動の内容は比較的簡単なものから始まり、できるようになるにつれ徐々にステップアップしていくようになっている。

委員) 協働事業として補助金対象期間が終了した後は、どのように事業を実施していくか、考えはあるか。

団体) まだ結果は不明だが、他の助成金制度の申請を行っている。また、今後は月謝制にするということも検討している。

・おさがり交換会（2回目）

環境保全の一環として、リサイクル及びリユースを自然と行うことができる機会の提供及び育児中の保護者の居場所作りを目的として、サイズアウトした洋服等を持ち寄り、譲り合える「おさがり交換会」を実施する。

委員) 活動のなかで成果があったと感じたことはあるか。

団体) 自分たちが実施した交換会以外にも、別会場で交換会が実施されており、狭山市全体に活動が広がっていると感じた。

また、環境面でも、持ち込まれた物品の廃棄量を10分の1以下にできたことは成果だと考えている。

委員) 交換会には、大勢の人が参加しているが、安全面で気を付けていることはあるか。

団体) 子ども連れの方が多いので、お子さんがいなくなってしまうように、お子さんの見守りをボランティアの方々をお願いしている。今後も見守りは続けていく。

・子育てたっち (初回)

子育て中の保護者を対象に、毎月2回入曽地域交流センターでお話し会や運動、モノづくりなどを実施する。参加者が自分の気持ちに目を向けられるよう、活動中はスタッフが同室でお子さんを見守る。

委員) 今後活動を続けていくにあたり、人手の確保について考えはあるか。

団体) 現在の団体のメンバーは7名のみになっているが、その中にはもともとは参加者だった人もいる。活動を水平展開していくにあたり、参加者のなかからメンバーになってくれる人もでてくると思われるので、そういった新しいメンバーとともに活動を進めていきたいと考えている。

・狭山市探訪ウォーキングマップの制作 (3回目)

生涯学習の視点で、狭山市の歴史・文化などに親しむツールとして活用できるような、狭山市の史跡旧跡や文化財などを巡るウォーキングマップを制作する。市内外の多くの方が狭山を探訪してくれるように広報し、ウォーキングイベントを実施する。

委員) 今まで外国人の参加はあったか。

団体) 一人、日本在住の外国の方の参加があった。

委員) 今、狭山市に住んでいる外国人の方は多くいらっしゃるので、そういった方々が地域に慣れ親しんでいくきっかけになるとよい。また、対象を絞ったイベントがあるとより参加しやすくなるのではないかと思った。

・イベント型子どもの居場所づくり事業 (ねこのたまり場) (2回目)

毎月1回(2回の月もあり)、主に中学生を対象に「何もしなくてもいい」をコンセプトにした居場所を開催する。夏休みやクリスマスなどのイベント時期にはその居場所内でミニイベントを開催する。また、ボランティアの募集を目的とした子どもとの接し方に関する講習会を開催する。

委員) 開催場所として中央公民館を利用するメリットとデメリットはあるか。

団体) メリットは、場所をお金がかからず借りることができるという点である。デ

メリットは、まだわかっていないが、子どもが距離的に来やすい場所か、駐輪場が停めやすいかなどが重要になってくると考えている。

委員) 参加者数についてどのくらい増えてほしいか目安はあるか。

団体) 単純に参加者が増えればよいという事業内容ではないため、居場所が必要な子どもに情報が届き、来てくれるようになればよいと考えている。1回の目安の人数は、スペースの大きさから考えて、10名ぐらいが丁度よいと考えている。学校に行っている子どものなかで、半数は頑張って学校に行っている状態であるという調査結果もあるため、そういった子どもたちが潜在的な利用者であると考えている。

委員) 居場所にボードゲームを置いているということだが、漫画やスマホゲームは置いていないのか。

団体) 漫画やスマホゲームは置いていない。自分で持ってきたもので遊ぶことを止めることは特にしていないが、現状コミュニケーションをとりたいと思っている子どもたちが多く、遊びながらコミュニケーションをとりやすいものを置いている。

委員) 居場所にハンモックが置いてあるが利用状況はどうなっているか

団体) 必ずしも毎回使用されているわけではないが、夏休みの人が多かった時期は使われていた。また、最近も休憩したい参加者が使っていることがある。

委員) 他団体との協力体制や繋がりはあるか。

団体) 他団体から紹介したい子がいるということで参加希望者を繋げていただいたケースがある。今後、いろいろな他団体と繋がり、協力してできることがあればよいと考えている。

・Hospitality Halloween「AI クッキング (お菓子作り体験)、トリックオアトリート」 (2回目)

令和7年10月25日(土)、26日(日)に西武学園の狭山キャンパスで地域の子供から高齢者までの幅広い年代を対象に文理の生徒学生が企画した「Hospitality Halloween」を開催する。中高大の3つのキャンパスでそれぞれ異なるアトラクションを提供し、子どもたちと高齢者が共に楽しめる内容に重点を置く。

委員) 事業を進めていく実行委員会のなかでも、地域との関わりを強めていったほうがよいと思われるが、どう考えているか。

団体) 学校関係者のみならず、自治会の方や地域の企業など様々な方に実行委員会にも関わっていただき、進めていけたらよいと考えている。

委員) 小学校の子どもたちも中高大のキャンパスに来るという想定か。

団体) 小学校からバスで中高大のキャンパスに移動できるようにする予定である。小学校でも小学生や年齢の小さい子ども向けの釣りや射的等遊びをメインとした小規模な祭りを開催し、そこで興味を持ってもらえた場合は、中高大のキャンパスでHospitality Halloweenに参加してもらえたらよいと考えている。

委員) 農家の方と連携して巨大かぼちゃを育てるという企画も実施するということで、子どもたちが環境保護に興味を持つきっかけになるとさらによいと思われるが、どう考えているか。

団体) 現在は、2か月に1回子どもたちが畑を見に行つて、農家の方から話を聞くという形をとっている。今後は環境の勉強にも繋げていきたい。

・ 人・動物福祉の協働活動と人材育成 (初回)

行政機関が関わる飼育者が不在となった猫問題や行政機関の関わりが難しい多頭飼育問題を解決する。市内の猫飼育者への適正飼育を啓発するためのボランティア育成を実施する。

委員) 猫の不妊費用や医療費、フード代等に多く金額がかかる事業であるが、協働事業の補助の対象期間終了後はどのように実施していくか、考えはあるか。

団体) 今回の協働事業では、飼い主がいるケースについて、飼い主を説得し、猫の不妊手術をさせることを行っていきたいと考えている。そうすることで、将来的な多頭崩壊を防ぐことができ、対応しなければいけない件数を減らすことができると考える。

また、補助対象期間が終了した4年後に、福祉関係課の事業として猫の問題解決を組み込むことができないかと、市の福祉関係課に相談をしているところである。他にも、埼玉県補助事業の対象になる可能性もあるため、申請を検討している。

委員) 猫を地域ぐるみで大切にしていけるコミュニティを作るといふ面で何か考えていることはあるか。

団体) 近隣住民の方と協力し、猫の保護を進めていき、行政に実施した活動の内容を報告するといった形で市民の方と行政と協力しながら活動を実施していきたいと考えている。

《行政提案型》

・ 集まれ、オンラインしゃべり場 (3回目)

青少年や子育て中の保護者など若い世代にしゃべり場としてチャットを利用してもらう。また、個々の抱える問題については行政の支援が必要な場合は連携を取り、解決につなげる。

委員) しゃべり場を実施するうえで難しかった点はあるか。

団体) 一度、ルールを守れない利用者に対して、チャットに入れないようにするという対応があったが、基本的には利用者はルールを守って使っており、問題は起きていない。また、遅い時間帯の対応についてはAIが対応する仕組みとなっているので、上手く運営ができています。

委員) IT企業と協力はできているか。

団体) セキュリティ面でいくつかの企業に相談し、関わってもらっている。利用するアプリや広報については、若い世代に適しているものを日々調べて活動を進めている。

・ 災害対策本部と地域を結ぶ通信網の確立 (2回目)

昨年度整備した防災拠点の設備を有効活用するため、各地区の防災拠点に移動できるアマチュア無線局を設置し、災害時に災害対策本部と各地区を結ぶアマチュア無線通信網を確立する。

・ 青少年のための文化体験フェスティバル（初回）

市内の小中学生を対象とし、日頃触れる機会の少ない種々の文化を体験する機会を提供する。市内小学校および狭山市中央公民館を会場として、令和7年7月に2回開催する。講師団体は当連合会所属の団体に加えて、一般の公民館サークルからも募集する。

委員) 子どもたちは、7月の体験会に参加をした後、気に入ったサークルで活動ができるようになるということか。

団体) 体験をきっかけとして、好きなサークルに参加してもらいたいと考えている。また、毎年2月に開催される市民芸術祭にも参加してほしいと考えている。市民交流センターの情報公開コーナーでもサークルの情報を調べることができるので、ぜひ子どもたちにも利用してもらいたい。

4. 閉会

配布資料

次第

令和7年度提案型協働事業1次審査結果一覧

令和7年度提案型協働事業2次審査タイムスケジュール

令和7年度提案型協働事業提案書一式

令和7年度提案型協働事業審査会審査表

・採択予定事業一覧（全10事業）
市民提案型協働事業（7事業）

No	事業名	提案団体	担当課
1	にじいろ体操教室	一般社団法人 mama's community	障がい者福祉課
2	狭山市探訪ウォーキングマップの制作	NPO 法人さやま生涯学習 をすすめる市民の会	社会教育課
3	おさがり交換会	特定非営利活動法人 こそだて支援 comono	環境課 奥富環境センター
4	イベント型子ども居場所づくり事業 (ねこのたまり場)	特定非営利活動法人 AKTO	こども政策課
5	Hospitality Halloween 「AI クッキング (お菓子 作り体験)、トリックオアトリート」	Hospitality Halloween 実行委員会	柏原地区センター
6	人・動物福祉の協働活動と人材育成	さやま猫預かり ボランティアサークル	環境課
7	子育てたっち	NPO 法人 いりそ支え合いたっち	保育幼稚園課 (入曾保育所)

・行政提案型協働事業（3事業）

No	事業名	提案団体	担当課
1	集まれ、オンラインしゃべり場	NPO 法人地域教育 ネットワーク	こども支援課
2	災害対策本部と地域を結ぶ通信網の確立	狭山非常通信チーム	危機管理課
3	青少年のための文化体験フェスティバル	狭山市文化団体連合会	社会教育課